

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和3年5月 第3号

2021.5.14発行

保護者の皆様へ

副理事長・副校長 福島 拓

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるようお願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今回の内容は御覧の通り円山校、麻生校それぞれの指導方針、内容の特色について担当責任者からのメッセージを掲載致しました。

円山校・麻生本校指導方針と内容



円山校

担当 井尾 敦

クラスユニックは、校訓「有志者事竟成」(しっかりとした志があれば必ず最後には成し遂げることができる)を意識し、大学受験を通じ、自身が描く将来像の実現、またその前段階の職業観を持った進路指導をしながらの「志」を育む指導を小中高と一貫して行っています。特に小学部においては、子どもたちが持つ様々な可能性に注視しつつ、取り組む姿勢を育成していく時期ととらえ指導しています。そのため学習に対する基本的な姿勢(学習の習慣と自立的な学習)を養うことが重要課題となります。将来むかえる大学受験は自分の人生への挑戦となります。もちろんその前にある高校受験、中学受験も考え方によれば挑戦と受け止められますが、大学受験のように将来を方向付けるものではありません。あくまでも子どもの育成の選択肢の1つと考えています。

<指導内容>

当校が四谷大塚の教材を使用しているのは、中学受験に特化するためではありません。

四谷大塚の教材は、小学生という最も使える時間が長い期間にしっかりと考え方や学習習慣を根付かせる働きがあるため使用しています。特に復習のメカニズムがきちんとされているスパイラル形式のテキストのつくりは、学力の定着を育みやすいものとなっています。また視覚的効果としてフルカラーテキストというのは理科や社会では非常に学習しやすいものになっています。これらを一律ではなく、児童一人一人に合った使い方をしていることが円山校の特徴となります。中学受験であれば、目標の学校に応じて週テスト・月例テスト・合不合格判定テストを意識しつつ行います。まずは全中学受験生の中で偏差値50のクリアが優先課題となります。北嶺・立命館 SP で全国 SS55 なので、この“SS50”超えというのは、道内で中学受験を目指す児童の大きな関門だと認識できます。各学校、算国理社の配点が異なるので、それを加味しつつ、ボーダーを考慮し、各教科の目標点を設定し合格を目指します。また公立中学校進学であれば、少し時間軸を長くとり、テキスト6年上までの内容を6年生の1月までに終えていく流れを作り、中学準備講座に結びつけています。特に算数と国語に関しては徹底的に行います。この2科目を押さえておくと中学生になってから非常に学習に取り組みやすくなります。

<裏面に続く>

以上のように児童の状況・目標を考えて、テキストの流れを個々に応じて変動させ、指導していくようにしています。

麻生本校

担当 兵藤 晋平

4月から新年度も始まり、新しい学年がスタートしました。
当校での新学期も順調に1か月が過ぎ、ここで改めて新年度の指導方針や指導内容についてお話しさせていただきたいと思います。



1. 中学入試に向けた学習と麻生校の指導方針

中学入試に向けた学習は現状、極めて特殊であると言わざるを得ません。およそ通常の小学校で習う単元・解法・知識を完璧にしている、中学入試では5~6割の正答率が良いところでしょう。上位校、上位クラスを目指すのであれば合格に十分だとは言えない数字です。つまり、中学受験において高得点を狙うということは、学校で習う学習内容とは程遠い、より難解な解法、より広く深い複雑な知識が必要になってくるのです。まずはこのことを念頭に置いて話を進めていく必要があります。

中学受験に向けた学習を進めるうえで大切になってくるのは、本人の意欲とご家庭のサポートです。まだ志望校について考えが及ぶ学年ではない生徒さんもいらっしゃるかとは思いますが、できるだけ早い段階で「この学校に行きたい」と本人が思ってくれることが望ましいと考えます。そのためにも、ご家庭では各学校の校風や教育理念、システムなどについて、当校だけでなく色々な媒体から情報を得ていただきたいと思いますし、なによりまずは気になる学校に本人と一緒に足を運んでください。目標を明確にすることが、中学受験において大切な「はじめの一步」なのです。

当校としては、中学受験に向けた学習、入試に向けたテクニックの指導だけでなく、なにより生徒やご家庭の指針を見つけるサポートに力を入れたいと考えています。北海道の中学入試は首都圏のもの比べるとおおらかかもしれませんが、それでも周りの友達と全く違った取り組みを、膨大な量の演習を、時に黙々とこなさなくてはなりません。そのようなときに励みになるのは、やはり目標と希望です。ご要望がありましたらいつでも面談時間を設定させていただきますので、お気軽にご連絡下さい。

2. 指導内容と教材

引き続き四谷大塚のテキストを中心に学習を進めてまいります。先日ご紹介した映像による学習サポートシステムにつきましても、いつでも体験などご案内いたします。テキストが首都圏での受験を想定した高めの難易度なので、まずは学習習慣の確立を目指し、4年生までは“勉強嫌い”にならないように注意してあげてください。そのうえで、徐々に学習内容の定着を図っていきたいと考えています。

5~6年生からは志望校に応じて要求される内容が異なってきます。場合によっては通常のテキスト授業の他に個別指導などの時間を設定して補強していく必要が出てくることもあるかとは思いますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

未筆ですが、コロナ禍で大変な時代を生きることになった生徒たちが、これからも前を向いて突き進んでいってくれることを心より期待しています。学習内容や使用教材、各種検定について、ご質問・ご要望などありましたらお気軽にお声掛けいただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

麻生校:001-0037 札幌市北区北 37 条西 3 丁目 3-15 ☎011-716-7162

円山校:064-9820 札幌市中央区大通西 23 丁目 1-1 ☎011-613-7755



麻生本校 小中学部



円山校 小学部



5月、6月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。